

1. 略歴

- 1997年3月 東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程卒業
- 1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程入学
- 1999年3月 同 人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程修了
- 2002年3月 同 博士課程単位取得退学
- 2004年4月 札幌学院大学社会情報学部講師（～2006年3月）
- 2005年5月 博士（社会学）学位取得（東京大学）
- 2006年4月 札幌学院大学社会情報学部助教授
- 2007年4月 信州大学人文学部准教授
- 2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

コミュニティの社会学、ハウジングの社会学、社会調査史

b 研究課題

- (1) 建造環境と社会構造の関係についての理論的・経験的研究
- (2) 米国、英国および日本における社会調査史

c 主要業績

(1) 論文

祐成保志、「ハウジングとホームの社会学」、『東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』、26、19-25頁、2013.3

(2) 学会発表

国内、祐成保志、「R・K・マーソンのハウジング研究」、第85回日本社会学会大会、2012.11.3

国内、祐成保志、「社会学におけるハウジング研究」（研究活動委員会企画フォーラム：「住宅」の社会学の回顧と展望）、第86回日本社会学会大会、2013.10.12

国内、祐成保志、「社会調査史の多層性」（大会シンポジウム：リサーチ・ヘリテージー20世紀の調査遺産をいかに継承するのか）、第86回日本社会学会大会、2013.10.13

(3) その他

祐成保志、「都市に住まう」、中筋直哉・五十嵐泰正編『よくわかる都市社会学』ミネルヴァ書房、70-73頁、2013.4

祐成保志、「住宅をめぐる制度の再設計」、小野田泰明他編『建築のサプリメント』彰国社、176-177頁、2014.4

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、信州大学人文学部、「文化情報論特論XV」、2012.8

(2) 学会

国内、日本社会学会、データベース委員、2013.1～